

平成28年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	平成28年5月24日（火） 10:00～11:30
場所	豊橋市中央図書館 会議室
委員	出席定数12名 うち10名出席
事務局	豊橋市教育委員会教育部図書館11名
議事	<p>議題</p> <p>(1) 平成28年度主要事業について</p> <p>(2) 平成28年度図書館協議会開催内容について</p> <p>(3) その他</p> <p>ア. 「豊橋市図書館の基本的な考え方」について</p> <p>イ. 平成28年度豊橋市図書館資料収集および昨年度利用状況について</p> <p>ウ. 平成28年度展示会等行事予定について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none">・豊橋市図書館協議会委員名簿・平成28年度図書館予算 主な事業・平成28年度図書館協議会開催内容について・平成28年度資料収集の基本方針・重点目標・平成27年度利用状況・豊橋市図書館の基本的な考え方（平成28年3月豊橋市教育委員会発行）・第三次豊橋市子ども読書活動推進計画（平成28年3月豊橋市教育委員会発行）・まちなか図書館情報紙「ビブリガーレ」vol1（平成28年豊橋市都市計画部発行）

<議事概要>

(1) 平成28年度主要事業について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

S P レコードコンサートは廃止するということだが、今年度のみの廃止なのか、それとも恒久的な廃止なのか。

(事務局)

今まで中心になって尽力されていた方が体調を崩されて、今までのような形での継続は難しくなった。ただし、せっかく図書館は貴重なS P レコードを保有しているので、別の形でS P レコードを聴いていただく機会を、秋をめどに設けたいと思っている。

【委員】

広域連携における職員のスキルアップということだが、他の自治体とのボランティア

の交流会みたいな機会も設けていただきたい。

(事務局)

ご提案いただいたので、各市町に話をしたいと思う。

【委員】

障害者サービスの充実については予算4万円ということだが、これで何をするのか。

(事務局)

今年度からデイジーサービスを導入するにあたり、サピエに登録しダウンロードする形で実施する。4万円はサピエの年会費。再生する機械、CD、送付ケース等は昨年度購入済みなので、今年度は不要。

(2) 平成28年度図書館協議会開催内容について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

昨年度は協議すべき項目がたくさんあった。さらにその前は南地域図書館に関する内容がたくさんあった。今年度は一段落ついたという感覚がする。

(3) その他

ア) 「豊橋市図書館の基本的な考え方」について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

32年度の図書館ネットワーク利用者数の目標値は何としても達成したい。ただしこの目標値が現場に周知されていない。ネットワーク館の従事者たちは何も知らない。目標があるということを周知するとともに、各館ノルマみたいなものをいただければ、頑張りたいと思っています。

【委員】

貸出冊数の記録の中に学校の関係の統計は含まれるのか。

(事務局)

中央図書館の利用冊数に含まれます。

【委員】

19ページに32年度の目標値が記載されているが、31年度中に開館が予定されているま

ちなか図書館の実績値も含まれることになるのか。

(事務局)

32年度ということなので、まちなか図書館も開館されて利用実績に含まれる前提での数値となっている。

【委員】

5ページに記載のある「図書館ボランティア登録人数」の27年度見込が26年度実績に比べ減っている。図書館運営の中で、ボランティアは大切。減っているのは何が原因なのか、増やす取り組みは何かしているのか。何もしないとどんどん減っていく。そのあたりの考え方。

(事務局)

最初のボランティア育成講座の開催から30年近く経っていて、多くの方が高齢になり活動する体力がなくなった。また、家族が転勤になって市外へ転出する等の理由により活動できる方が減ってきた。ボランティア育成講座へご参加いただける方は毎年必ずいる。活動されている方から意見等を聞き取って、どうすれば活動しやすくなるのか、検討したいと考えている。

【委員】

講座を受講していただいても活動につながっていないことが増えない一番の要因。ボランティアの世代が「子育て世代」と「退職後世代」の二層になっていて、真ん中の世代がいない。「子育て世代」はやがて再就職する、「退職後世代」はやがてできなくなる。人数が減って、負担がますます大きくなっている。本市のブックスタートは5冊から選択できることになっているが、これがかえって負担になっている。

【委員】

5ページの目標指標にある「拠点地区市民館等コンピュータネットワーク整備数」は目標13館に対し見込が8館となっているが、今後達成できる見込みはあるのか。

(事務局)

今のところ見込みはない。図書館としては毎年要望している。

【委員】

分室数が74あるというのは中核市の中でもトップであるが、ネットワーク化されていないと魅力がない。目標の13館をぜひ達成していただきたい。

【委員】

予算化されない5館分の予算はどれくらいなのか。

(事務局)

1館増やすごとに約250万円、それに加えランニングコストがかかる。システム更新のタイミングもある。

【委員】

図書館の利用者数の目標の達成というのも大切だが、利用者は一部の常連さんなどに偏っていると思われる。公立図書館としてやるべきことは何なのか、基本構想の中に公立図書館の役割を明確にすべきだと思う。

【委員】

16ページの「新たな図書館の利用者の開拓」について、若い方たちに目が行き過ぎている気がする。今の高齢者は元気であり向上心はすごいと思う。何かをやりたい、何かに貢献したいという思いを持っている人が多くいるが、ボランティアの情報について、みんな知らないのではないかと思う。

(事務局)

図書館を含めた行政は、利用者数や来館者数など数字で評価されることが一般的である。利用者数が多いところは優れた図書館だと思われがちだが、図書館には図書の貸出業務以外の、例えば郷土の文化を高めるなど大切な機能も有している。

イ) 平成28年度豊橋市図書館資料収集および昨年度利用状況について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

羽田八幡宮文庫の貴重資料は実際に買っているものなのか。

(事務局)

買えないこともある。アンテナを張って頑張って買いたいと思う。

ウ) 平成28年度展示会等行事予定について

事務局より、配布資料に基づき説明。